

平成28年度 施策評価表

課・グループ名	まちづくり課企画情報グループ

作成年月日：平成29年10月13日

施策名	①地域間交流の促進 5-5-①		
1. 施策の現状分析及び展開方向			
政策・施策の体系	大項目	中項目	小項目
	5. 安心して楽しく暮らせる快適な生活環境のまちづくり	(5) 新たな出会いと交流の場づくり	①地域間交流の促進
①施策のねらいと展開方向	<ul style="list-style-type: none"> ●南空知圏域を構成する市町と連携しつつ、それぞれの特性を生かした新たな交流事業のあり方を検討し、広域連携による一層の発展を目指します。 ●多良木町との交流について、町、JA、商工会などで構成する姉妹交流推進委員会において交流内容の充実検討を行い、地域や民間団体なども含め、積極的な交流の推進を図ります。 		
②施策の現状と課題	現 状	課 題	
	<ul style="list-style-type: none"> ●南空知ふるさと市町村圏組合において、圏域9市町間での交流事業が行われているほか、圏域外への情報発信や広域連携の調査が行われています。また、平成24年1月に南空知災害時相互応援に関する協定を締結しています。 ●平成22年2月2日、熊本県球磨郡多良木町と姉妹町締結を行い、南北交流による相互の友好親善と地域活性化を目的とした、児童交流学習及び物産品などの地域間交流が行われています。 	<ul style="list-style-type: none"> ●南空知市町村圏域の交流事業への参加者が減少しているため、組合のあり方を含め、事業内容の見直しが必要です。 ●多良木町との未長い交流と地域活性化を図るため、児童交流や物産交流のほか、町民や民間団体の交流を検討する必要があります。 	

2. まちづくりの成果指標の設定、達成状況							
① 成果指標	設定の意図			まちづくりの成果指標名			数値化
	姉妹町交流事業への参加を通じて、異なった歴史や文化等を学ぶ機会とするため、児童をはじめ町民の交流参加人数を指標とする。			成果指標 (総合計画・施策評価)			可能
							不可能
	代替指標 ※成果指標がない場合			姉妹町(熊本県多良木町)との児童交流参加人数			○ 可能
							未計測
※施策目的(施策の意図)の達成状況を把握するための指標を記載しています。							
② 指標データ	単位	過年度実績			評価年度	目標年度	達成率増減の理由
		H25	H26	H27	H28	H28	
目標	人	28	15	15	15	15	児童10名、引率者5名が児童交流に参加。 ※第6期南幌町総合計画施策評価時に指標の見直しを予定。
実績	人	30	15	15	15	15	
達成率	%	107.1	100.0	100.0	100.0	100.0	
評価視点		評価結果				理由・課題・問題点	
③ 施策の達成状況		A 計画目標に向けて順調に推移 (目標達成は十分に可能である)				施策の達成度	<ul style="list-style-type: none"> ・児童交流については、児童男女5名ずつ参加となっており、引き続き実施する。 ・交流研修補助活用者については、活用者が9名となっている。
		B 計画目標に向けて概ね順調に推移 (目標達成は可能である)					
		C 計画目標に向けての進捗はやや遅れている (目標達成が遅れる可能性がある)				B	
		D 計画目標に向けての進捗は遅れている (目標達成は難しい)					

3. 施策を構成する事務事業の評価

【種類】 事務事業の種類	【必要性】 事務事業の必要性	【妥当性】 町の関与の妥当性
(1) 自主事業(自主)	(1) 町が保障する町民生活の最低水準に関わるもの	(1) 町が実施主体となり、企業等が補完的な役割を行う事業
(2) 施設管理事業(施管)	(2) (1)を超えるサービスで町民ニーズが大きいと考えられるもの	(2) 実施主体は企業や町民団体等が適当であり、市が補完的な役割を担う事業
(3) 経常的事務(経常)	(3) (1)を超えるサービスで町民ニーズが小さいと考えられるもの	(3) 企業や町民団体等による実施が妥当な事業
(4) ハード事業(ハード)		

①事務事業評価結果													施策への 貢献度 <高い> <普通> <低い>
事業 番号	事務事業名	種 類	所 管 課 名	成果指標	評価年度(H28)		事務事業の内容	必 要 性	妥 当 性	事務事業 評価結果 (方向性)	事業費(千円)		
					目 標	単 位					H28実績	H29予算	
1	姉妹町交流事業	(1)	まちづくり課	交流参加人数 (①児童・②町民)	①15	人	姉妹交流推進委員会において交流内容の検討を行い、児童交流、地域や民間団体なども含めた積極的な交流を行う。	Ⅲ	Ⅰ	1 現状のまま継続	2,174	高い	
					②30						3,104		
2													
3													
4													
5													

年度別施策全体の事業費合計(千円)	
H28事業費	2,174
H29予 算	3,104

②H29に実施した新規事務事業					
	実施計画	実施主体	事務事業名	事務事業の内容	H29予算(千円)
1					
2					
3					

評価視点	評価結果		理由・問題点
③事務事業の妥当性 (手段は妥当か)	A 効果的な事業構成である。 (現状のまま継続する)	事業構成の 妥当性	交流研修補助について、活用が増えるようPR方法について工夫し実施していく。
	B 概ね効果的な構成である。 (一部見直し等の余地がある)		
	C あまり効果的な事業構成はない。 (見直し等の余地が大きい)	B	
	D 事業構成に問題がある。 (抜本的な見直し等が必要である)		

4. 今後の方向性 ※外部評価 (行政評価委員会)									
①総合評価 (今後の展開、 事業の見直し等) 委員会評価	特に課題とすべき指摘事項はない。	事業の 方向性 優先度 A~D (ランク)	事業番号					平成29年度以降 の予算の方向性	
			A						拡大
			B						維持
			C 1						縮小